

# 令和4年度天皇杯皇后杯全日本6人制バレーボール選手権大会愛知県ラウンド開催要項

主催 公益財団法人日本バレーボール協会  
後援 ミカサ、モルテン  
主管 一般社団法人愛知県バレーボール協会

## 1 開催趣旨

本大会は、本協会に登録する全てのチーム（小学生を除く）が、1年度を通して「天皇杯」「皇后杯」の名を冠するに相応しい、日本の6人制バレーボール最高のチームとなる栄誉を競うと同時に、バレーボールの競技を通じて体力、人格、精神力の向上を目指し、また日本バレーボール界の発展と普及に寄与することを目指して開催する。

## 2 開催期日 女子：7月2日（土）、男子：7月18日（月）

## 3 会場 男子 名古屋市守山スポーツセンター 名古屋市守山区竜泉寺2丁目112番地 (052-792-7066) 女子 名古屋市天白スポーツセンター 名古屋市天白区植田3丁目1502 (052-806-0551)

## 4 参加資格 令和4年度公益財団法人日本バレーボール協会個人登録規定により、有効に登録されたチーム及び選手構成され、小学生を含まないチーム。

## 5 出場チーム JVAに有効に登録された、愛知県内の高校・大学・クラブ・実業団の各連盟から推薦されたチームとフリーカテゴリー予選を通過した2チームを加え、合計最大10チームとする。高校・大学・クラブ・実業団・フリー各2とするが、女子の実業団参加数に応じてクラブ⇒高校の順に追加する。

※ 各カテゴリーのブロック決定戦優勝チームは、愛知県予選会を経ることなく、東海ブロックラウンドに参加できる。

※ 実学ク高の参加チームが8チームに満たない場合は、実連→大学→クラブ連→高体連の順に不足チーム分を補填する。

## 6 競技規則 令和4年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。

ネットの高さ：2.43m（男子）、2.24m（女子）とし、シニアルールで行う。

リベロプレイヤーは、登録選手が12名以内の場合は0～2名、13・14名の場合は1～2名とする（天皇杯ルール）。

## 7 競技方法 原則として3セットマッチのトーナメント戦とし、3位決定戦は行わない。

第3セットになった場合は10-10から開始し、チェンジコートは行わない（促進ルール、代表者会議で確認）。

※優勝チームは東海ブロックラウンド（9月3日（土）・4日（日）三重県）に出場する。

## 8 大会使用球 試合球は主催者が準備するが、実行委員会から支給された天皇杯・皇后杯大会オリジナル球を準決勝・決勝より使用する。準決勝までは通常のモルテン・ミカサボールを使用する（女子：モルテン製（V5M5000）、男子：ミカサ（V300W））。

## 9 チーム編成 チーム編成：1チームは部長、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー各1名、（チームスタッフ）、選手18名以内とする。必要に応じてドクター、通訳1名を加えることができる。申込み後の選手変更は競技者番号を含めて認められない。監督、コーチ、マネージャーのうち1名以上は日本スポーツ協会公認スポーツ指導者に基づく、公認バレーボールコーチ1～4の有資格者とする。（高校チームは取得していることが望ましい）スタッフ及び選手18名はラウンドごとにリセットされる。

## 10 参加申込 MRSにより必要事項を入力して申し込む。参加料は7,000円とし、代表者会議で支払う。

## 12 申込締切 男女各開催日の原則2週間前とするが、事情により遅らせることが出来る。

## 13 代表者会議 男女各開催日午前9時30分～（開館 9時）

## 14 抽選会 競技委員会でカテゴリー枠の代理抽選を行う。

## 15 開閉会式 開会式・閉会式は感染防止対策上の観点から、本年度は実施しない。

## 16 その他 コート設営終了次第フロア練習を許可するが、それまではフロアに入場しないこと。

第1試合チームは9：30～45 コート練習を実施し（予定）、その後プロトコール（公式練習含む）を行う。

第2試合以後は前の試合終了15分後にプロトコール（公式練習含む）を行う。

第1試合の線審・点示員は、第3試合チームから出し、以後は前試合敗者チームから出す。

応援については声・メガホンまでとし、太鼓・マイクでの応援は行わない。

**新型コロナウイルス感染症拡大防止のため無観客とする。ただし、大会出場選手・スタッフ以外のチーム関係者は、感染防止チェックリストを提出した場合入場を許可する。**

その他の感染症対策については、愛知県バレーボール協会ガイドラインに沿って行う。

※本大会の問い合わせ

一般社団法人愛知県バレーボール協会 競技委員長 家子 TEL：052-232-2221（月～金、10：00～16：00）